



# 「こんにちは 市長です」

6月1日号

コロナで学んだことをもとに未来をつくっていくのが今、そんな思いがある。アメリカに負けた後、GHQがアドバイザーとなって新憲法ができた。三権分立を主軸とする民主国家に変えた。コロナはGHQと同列ではないが日本の生活様式を大きく変えた点ではいっしょだ。驚くのは、たったの3カ月で変えてしまったことだ。

時間をつくっては役所内を回る。職員からいろいろな意見を聞く、社会の流れをつかむにはとても良い。最近、事務机の間隔が1～2mの配置になっていないことが気になる。コロナはソーシャルディスタンスという言葉を私たちに教えてくれた。そんな言葉は今まで聞いたことがなかった。クラスターやパンデミックなどカタカナ文字の新語が数多く登場した。以前は気にも留めなかったこと、相向かいの間にアクリル板を入れるべきか考えたりする。市民課は役所のキーポジションだが、ソーシャルディスタンスという点では危険な状態にある。キツキツで、しかも職員の動きが多い。万が一、感染者が出たら役所は止まる。なら、ランチ（支店）が必要だろうか。年金、国保も同様にキツキツ。スカスカが常識となるのだからやはりランチをつくるか。「何とかしなくちゃ」、担当部と相談したい。詰め込みといえはテストの前のツメコミ勉強「でたあ～。当たったあ」、そんなこともあった。今はツメコミ教室はだめ。スカスカでなければいけない。スカスカで充実した教育環境をつくる、いよいよGIGAスクールの登場である。コロナを機に、今が古き良き時代であったと回顧することになる。

コロナ感染状況は落ちつき、市の施設も条件付きだが再開を始めた。何より、太田記念病院の先生方、職員の皆さんに心から「ありがとう」を言いたい。大泉・邑楽・千代田の町長さんと話し合って感謝の意を伝えようと思っている。